

JCCA

Kyushu Branch, Japan Civil Engineering Consultants Association

九州支部
支部だより

Vol. 51 2023. 7

支部長のご挨拶	1	部会の活動	10	令和5年度会員名簿	14
支部組織図	3	総務・企画部会、特別部会	10		
令和5年度事業運営方針	4	夢アイデア部会	12		
令和4年度事業報告	6				



日ごろより、一般社団法人建設コンサルタンツ協会並びに同九州支部の活動に格別のご理解、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当支部は、九州・沖縄 8 県の会員総数 157 社（令和 5 年 4 月 1 日時点）で構成しており、全国 9 支部の中でトップクラスの陣容に成長してまいりました。これもひとえに、発注者様をはじめ関係する皆さまのご支援の賜物だと深く感謝申し上げます。

九州支部はこの組織力を背景に、会員相互並びに関係諸機関や地域の皆さまと連携しながら、九州・沖縄地域で暮らす人々の安全・安心の確保と、その基盤である道路、鉄道、空港、港湾、河川、ダム、上下水道などの社会資本整備における企画、調査、設計、施工監理等の業務に事業者の技術的パートナーとして活動しています。

一方、建設コンサルタントを取り巻く課題として、「担い手の確保・育成」、「品質の確保・向上」、「国土強靱化への対応」などがあげられます。

担い手の確保・育成の観点からは、働き方改革やワークライフバランスの推進、さらには積極的な賃上げなどが社会全般の課題としてクローズアップされています。建設コンサルタントにおいても一層の魅力向上に向けた「担い手の確保・育成のための環境整備」への取組みが重要となっています。

品質の確保については、令和元年 6 月に改正された「品確法（公共工事の品質確保の促進に関する法律）」で、建設コンサルタント業務も同法の対象として明確化されました。これは建設コンサルタントの地位向上に大きく寄与するものと期待され、業務成果の更なる品質の確保と向上が求められます。

令和 2 年 7 月豪雨、令和 3 年 8 月の長雨、令和 4 年 9 月の台風 14 号など、九州では毎年のように豪雨・台風等の大規模自然災害に見舞われ、多数の人的被害に加えて公共土木施設にも甚大な損失が生じています。このように頻発化・激甚化する災害への対応や事前防災、さらには老朽化するインフラ施設のメンテナンスなど、国土強靱化への対応に今まで以上に貢献していく必要があります。

このような背景を踏まえ、九州支部では以下の取組みに力を入れてまいります。

1. 建設コンサルタントの一層の魅力向上に向けた総合的な環境整備
2. 技術力と品質の確保・向上の促進
3. 広報活動の強化と社会貢献活動の推進

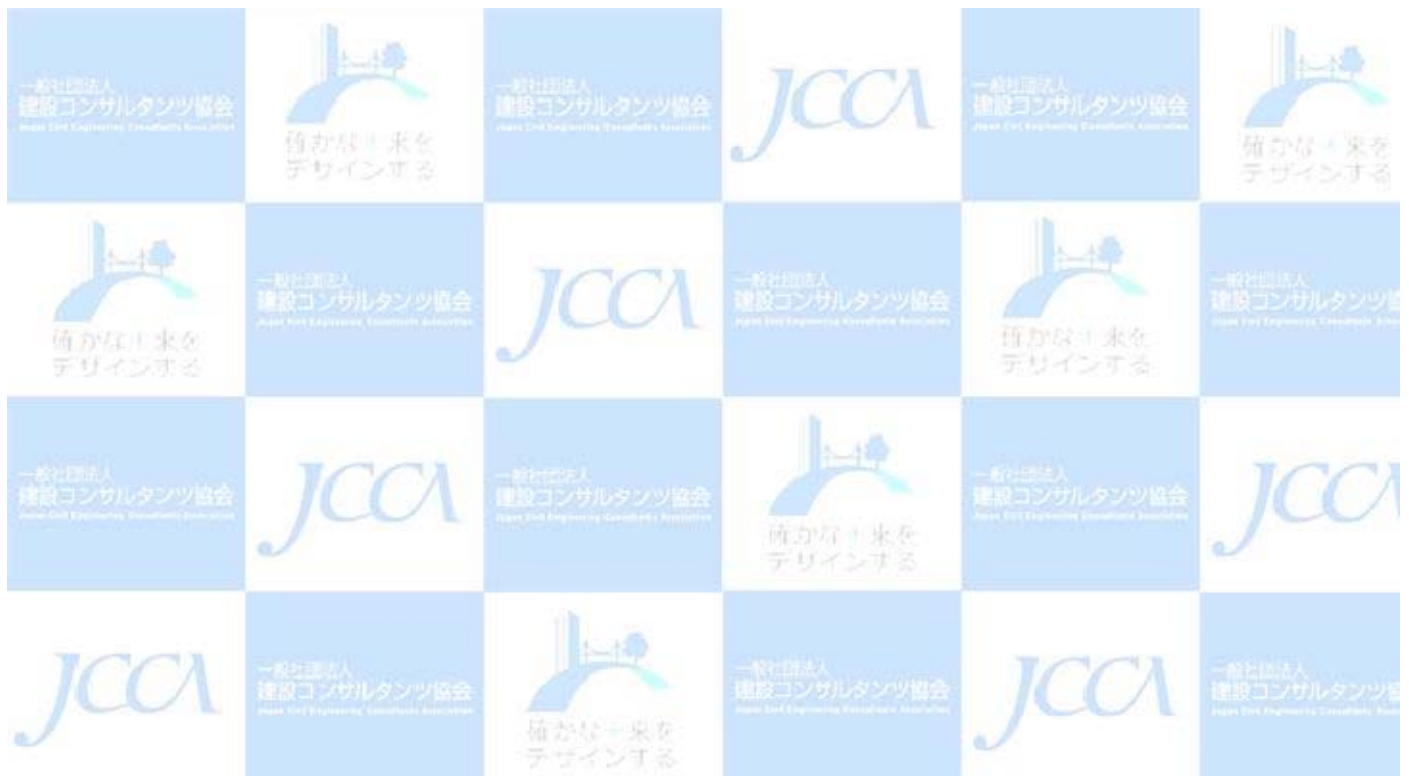
この 4 月から国土交通省では、設計業務における BIM/CIM の原則化、工事では ICT 活用工事の原則化が施行され、測量・調査・設計・施工・維持管理といった建設事業全ての工程で一連の共通データを活用する i-Construction が本格的にスタートされました。今後、公共事業に BIM/CIM、AI、i-Con をはじめとするデジタル化、いわゆる「インフラ DX」を進めていくためには、中小を含めた全ての建設事業関係者が対応できる環境整備が必要であり、協会としても取り組み始めたところです。

建設コンサルタントとして、日々研鑽に努め、発注者である行政機関や地域の皆さまの頼れるパートナーとして、国民の夢と希望を実現すべく活動することをその使命と考えています。地域を、社会インフラの整備や維持を通して、側面的

に支え続けてまいります。

今後とも、より充実した活動が行えますよう、支部・会員各社に対するご理解と一層のご支援をお願いいたします。

令和5年4月
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会九州支部
支部長 **田中 清**





支部役員		
支部長	田中 清	第一復建
副支部長	尾長谷孝之	西日本技術開発
副支部長	上村 俊英	建設技術研究所
支部理事	高橋 直哉	エイト日本技術開発
支部理事	安部 清美	扇精光コンサルタンツ
支部理事	里見 武彦	サンコーコンサルタンツ
支部理事	森山 秀馬	第一復建
支部理事	友光 宏実	大日本タ イエコンサルタン
支部理事	福元秀一郎	東京建設コンサルタン
支部理事	中野 卓朗	パ シフィックコンサルタンツ
支部理事	野上 和彦	福山コンサルタン
支部理事	後藤 正孝	復建調査設計
支部理事	眞間 修一	八千代エンジ ンヤリ ング
福岡(理事)	松延 岳志	東亜コンサルタン
佐賀(理事)	大串 正	西日本総合コンサルタン
大分(理事)	篠原 昭弘	タ イエコンサルタン
熊本(理事)	中田慶一郎	九州開発エンジ ンヤリ ング
宮崎(理事)	小澤 修三	東九州コンサルタン
鹿児島(理事)	萩原功一郎	萩原技研
監 事	上野 竜哉	新日本技術コンサルタン
監 事	愛敬 圭二	中央コンサルタンツ

総務・企画部会

部会長:
眞間(八千代 E)

副部会長:
里見(サンコーコンサルタンツ)
高橋(エイト日技)

対外活動部会

部会長:
森山(第一復建)

副部会長:
野上(福山 C)
安部(扇精光 C)
松延(東亜コンサルタン)
大串(西日本総合 C)
篠原(タ イエコンサルタン)
中田(九州開発 E)
小澤(東九州コンサルタン)
萩原(萩原技研)

技術部会

部会長:
福元(東京建設 C)

副部会長:
愛敬(中央 C)
友光(大日本 DC)

夢アイデア部会

部会長:中野(パ シフィック C)
副部会長:上野(新日本技術 C)
後藤(復建調査設計)

特別部会

部会長:田中(第一復建)
副部会長:尾長谷(西技)
上村(建技)

地域部会

部会長:大串(西日本総合 C)
副部会長:中田(九州開発 C)

総務委員会 委員長 1 名、副委員長 2 名
委員長:長尾 智洋 (西鉄シー・イー・コンサルタン)
副委員長:吉本 修 (福山コンサルタン)
副委員長:萩迫 耕造 (八千代エンジ ンヤリ ング)

企画委員会 委員長 1 名、副委員長 2 名
委員長:熊川 正勝 (西鉄シー・イー・コンサルタン)
副委員長:安永信一郎 (国土技術コンサルタンツ)
副委員長:加藤 裕明 (パ シフィックコンサルタンツ)

女性技術者委員会 委員長 1 名、副委員長 2 名
委員長:筈瀬明日香 (建設技術研究所)
副委員長:大重 岬 (総合技術コンサルタン)
副委員長:濱田千友美 (大進)

若手技術者委員会 委員長 1 名、副委員長 2 名
委員長:太刀掛正俊 (長大)
副委員長:黒葛川 彬 (千代田コンサルタン)
副委員長:増本 哲也 (三井共同建設コンサルタン)

広報委員会 委員長 1 名、副委員長 2 名
委員長:荒木 和哉 (中央コンサルタンツ)
副委員長:原田 健彦 (オリエンタルコンサルタンツ)
副委員長:縄田 耕次 (長大)

対外活動委員会 委員長 1 名、副委員長 4 名
委員長:中島 隆信 (建設技術研究所)
副委員長:松嶋 憲昭 (扇精光コンサルタンツ)
副委員長:永富 雅幸 (八千代エンジ ンヤリ ング)
副委員長:前田 秀喜 (西日本技術開発)
副委員長:松下 正博 (東京建設コンサルタン)

防災委員会 委員長 1 名、副委員長 1 名
委員長:能見 忠歳 (応用地質)
副委員長:岡本 憲治 (福山コンサルタン)

河川技術委員会 委員長 1 名、副委員長 2 名
委員長:松田 如水 (パ シフィックコンサルタンツ)
副委員長:杉本 博幸 (いであ)
副委員長:篠塚 一正 (日鉄鉱コンサルタン)

道路技術委員会 委員長 1 名、副委員長 3 名
委員長:田中 智行 (中央コンサルタンツ)
副委員長:田口 直樹 (総合技術コンサルタン)
副委員長:福田 周吾 (橋梁コンサルタン)
副委員長:日高 真 (長大)

環境・都市等技術委員会 委員長 1 名、副委員長 2 名
委員長:林 真希子 (西日本技術開発)
副委員長:高木 洋輔 (東京建設コンサルタン)
副委員長:桶本 孝 (中央コンサルタンツ)

講師派遣委員会 委員長 1 名、副委員長 2 名
委員長:塚元 紀幸 (千代田コンサルタン)
副委員長:原田 隆弘 (八千代エンジ ンヤリ ング)
副委員長:小糸 秀幸 (建設技術研究所)

情報委員会 委員長 1 名、副委員長 2 名
委員長:三笠 真吾 (西日本技術開発)
副委員長:今村 秀秋 (東京建設コンサルタン)
副委員長:宮本 一史 (八千代エンジ ンヤリ ング)

品質向上委員会 委員長 1 名、副委員長 2 名
委員長:石井健太郎 (オリエンタルコンサルタンツ)
副委員長:菰方 弘樹 (中央コンサルタンツ)
副委員長:溝部 聡 (総合技術コンサルタン)

夢アイデア企画委員会 委員長 1 名、副委員長 2 名
委員長:鷹羽 誠 (東亜建設技術)
副委員長:荒井 知久 (オリエンタルコンサルタンツ)
副委員長:外山 秀人 (八千代エンジ ンヤリ ング)

夢アイデア実行委員会 委員長 1 名、副委員長 1 名
委員長:福満 孝博 (日本工営都市空間)
副委員長:清水 亨一 (西日本技術開発)

災害対策委員会 委員長 1 名、副委員長 2 名
委員長:田中 清 (第一復建)
副委員長:尾長谷孝之 (西日本技術開発)
副委員長:上村 俊英 (建設技術研究所)

各県部会

令和 5 年 7 月 1 日現在

このおおよそ3年間の新型コロナウイルス感染拡大は、我が国においてもテレワークやWEB会議を定着させるなど、働き方や人々の生活に大きな変化をもたらしました。同時に、先進国水準から我が国が遅れているとされるDX推進の重要性が新たに認識されるとともに、地球温暖化対策を経済成長の鍵とする方針を表明する国が相次ぎ、2020年10月には我が国政府も2050年のカーボンニュートラルをめざすことを宣言しました。

一方で、昨年2月に勃発したロシアによるウクライナ侵攻は、我が国を含む世界経済に大きな影を落とし、その終焉が見通せない状況にあります。

我が国固有の危機としては、毎年のように発生する自然災害の激甚化、頻発化が挙げられます。九州も例外ではなく、2016年4月の熊本地震、2017年7月の九州北部豪雨、2018年7月の西日本豪雨、2019年8月の九州北部豪雨、2020年7月豪雨などが記憶に新しいところで、昨年9月も台風による豪雨災害が発生しました。これら災害発生時において行政機関が実施する災害復旧・復興に対して、建設コンサルタンツ協会九州支部（以下、建コン九州支部）では、被災地域の実態調査や復旧計画・設計など、様々な場面で速やかな協力・支援を実施してきており、より多くの機関との災害協定締結を目指すとともに、協力体制・運用方法の充実を図っています。今後も、安全・安心で豊かな国民生活と活力ある社会経済活動が達成されるような社会資本整備の実現に向け、一層重要な役割を担っていきます。

建設コンサルタントに係る法整備として公共工事品質確保促進法の改正（以下、改正品確法）、労働基準法の改正が挙げられます。2019年6月に改正された改正品確法において「災害時の緊急対応の強化」、「働き方改革の推進」、「生産性の向上」が追加され、これまで「工事に準ずる“扱いであった”調査等（測量、地質調査、点検・診断を含むその他調査、設計）業務」、いわゆる建設コンサルタントが担う分野に関して品質確保が明確化されました。建設コンサルタントは、改正品確法の基本理念である「適正な利潤を確保」しつつ、「担い手の中長期的な育成・確保」と「公共工事の品質確保」を実現するための具体的な方策を掲げて活動する必要があります。

2019年4月に改正された労働基準法に伴う“時間外労働の制限”は、翌2020年4月から企業規模に関わらず全ての企業に適用されています。加えて2020年4月の「改正民法」施行に伴い、「公共土木設計業務等標準委託契約約款」が改正され、“契約不適合責任”が建設コンサルタントに課せられるようになりました。これら新しい法令への遵守の徹底も我々の責務です。

また、施策面では2016年1月に国土交通省が“建設生産システム全体の生産性向上を図る”こととした「i-Construction」施策を打ち出し、BIM/CIMやAIの導入など、建設コンサルタントにもその対応が求められています。

さらに、2030年までの国際目標になっているSDGsに対して、建設コンサルタントは、自然災害リスク、水資源、エネルギー、生物環境などの長期的なリスクを見据え、多様な分野で事業を展開しています。従来の枠組みを超え、官・学、NPO法人、異業種など幅広いステークホルダーと連携することで、社会課題を解決し、社会に新しい価値を生み出す活動に取り組む必要があります。

建設コンサルタントを取り巻く上記状況の中、建コン九州支部は、法令を遵守し、発注者とのパートナーシップの維持と向上、会員企業の共通課題の認識と解消、および魅力あふれる職業分野の確立等に向け、経営安定と就業環境の改善、技術力と品質の確保・向上および生産性の向上、社会的な認知度の向上等に取り組むとともに、会員であることによる便益向上を推進する活動を行ってまいります。

以上を踏まえ、建設コンサルタンツ協会九州支部の令和5年度事業は、以下の運営方針で展開します。

（1）建設コンサルタントの一層の魅力向上に向けた総合的な環境整備

- ① 発注機関との意見交換会の開催と「要望と提案」の提起
- ② 経営の安定化と就業環境の改善のための環境整備
- ③ 若手・女性社員がより働きやすく、活躍できる職場環境作りの推進

（2）技術力と品質の確保・向上の促進

- ① 各技術分野における技術力と品質の確保・向上施策に関する情報提供の促進
- ② 生産性向上につながる各種の施策や先進技術等の情報提供と取組の促進
- ③ 受発注者それぞれの役割を踏まえた国土強靱化を含むSDGsへの取組の促進

(3) 広報活動の強化と社会貢献活動の推進

- ① 産学官一体となった建設コンサルタントの社会的役割と意義および業務内容等に関する広報活動の強化
- ② 災害支援活動の充実と防災技術に関わる各種情報等の提供
- ③ 各種社会貢献活動等の継続と充実

(4) 職業倫理の保持と法令遵守の徹底

- ① 職業倫理の保持について啓蒙活動の推進
- ② 法令遵守の徹底と課題発生時における助言・対応支援等
- ③ 労働法制改正、民法改正への対応支援

(5) 会員であることによる便益向上の一層の促進

- ① 上記4項目による便益についての理解の促進
- ② 企業経営等に関わる各種研修会・講習会による情報提供
- ③ 企業のDX推進に向けた各種情報の提供

[補足説明]

1) 事業運営の大きな柱として、(1)、(2)、(3)を立てる。(1)は建設コンサルタント事業の根幹に関わる方針、(2)は当該事業の立脚点である技術力と品質に関わる方針、(3)は当該事業の社会的位置と貢献に関わる方針である。

2) (4)は建設コンサルタント事業を営む上での絶対的条件である職業倫理と法令遵守に関わる方針である。

3) (5)は特に会員の便益向上の一層の促進に関わる方針である。

以上

2019年12月に中国武漢市で第1例目の新型コロナウイルス（COVID-19）感染者が報告されてから、新型コロナウイルス感染症は、わずか数カ月ほどの間にパンデミックと言われる世界的な流行となりました。そして、2020年1月には日本で初めての感染者が確認され、その後、2020年～2022年まで「緊急事態宣言」および「まん延防止等重点措置」が断続的に発令され、国内景気は一進一退の状況を余儀なくされました。その中で、我々建設コンサルタントは、「継続すべき業務を担う業界」であるとの認識のもと、社会資本整備に真摯に取り組み、その役割を果たし続けているところです。

一方、コロナ危機はDX（デジタルトランスフォーメーション）やカーボンニュートラル実施への流れが強まる契機となり、人の移動・接触抑制対策として、「テレワークの推進」、「WEB会議の実施」、「講習会等のオンライン聴講」等が一気に浸透し、定着しました。

令和4年度においても新型コロナウイルスのデルタ株・オミクロン株などの変異種による感染拡大下でも、事業の継続が求められる業種が建設コンサルタントであるため、さらなる「テレワークの推進」、「WEB会議の実施」、「講習会等のオンライン聴講」を推進した年でもありました。

また、我が国では毎年のように自然災害が発生し、各地に甚大な被害をもたらしています。九州においても例外ではなく、2016年4月の熊本地震、2017年7月の九州北部豪雨、2018年7月の西日本豪雨、2019年8月の九州北部豪雨、2020年7月の令和2年7月豪雨などが記憶に新しいところです。自然災害に対する国土強靱化や防災・減災対策の推進および被災地における復旧・復興等の社会的重要性は、従来にも増して強く認識されるものとなりました。建設コンサルタント協会九州支部では、自然災害発生時に災害対応を行う行政機関に対し災害協定を締結しており、速やかに技術支援が出来る態勢を整えています。

さらに、高度経済成長期に整備された社会資本の老朽化に対する適切な維持管理、長寿命化、更新等の必要性に対する社会的認識も一層高まっており、これらの社会資本に関わる喫緊の課題に対する建設コンサルタントの果たすべき社会的役割はますます重要になっています。

2014年6月には改正品確法が施行され、「建設分野における担い手の中長期的な育成・確保の促進」を趣旨として、発注者責務である適正な利潤が確保できる予定価格の設定、計画的な発注、適切な工期設定等が明確に規定されるとともに、関係主体が取り組むべき事項等が明示されました。さらに、2019年6月の品確法の一部改正により、建設コンサルタント業務も品確法の対象として明確化されました。この改正では、「災害時の緊急対応の強化」、「働き方改革の推進」、「生産性の向上」、「技術競争による選定」、「適切な工期の設定と納期の平準化」などが実現され、ひいては建設コンサルタントの地位向上に繋がるものと期待されます。我々は、改正品確法の基本理念である「適正な利潤を確保」しつつ、「担い手の中長期的な育成・確保」と「公共工事の品質確保」を実現するための具体的な方策を掲げて活動する必要があります。さらに、2016年4月より、ICT等の活用により建設事業の生産・管理システム全体の生産性向上を図るとともに、魅力ある建設現場を目指して「i-Construction」が進められています。その一環として、特に従来の2次元図面に代わる3次元BIM/CIMの導入・活用が原則適用となり、建設コンサルタントにもその対応が求められています。

一方、長時間労働の改善、女性活躍推進法を踏まえた女性技術者のための環境整備、ワークライフバランスの推進等、社会全般の課題としてクローズアップされ、建設コンサルタント業界においても「働き方改革」への取組が重要となっています。2019年4月の改正労働基準法の施行に伴い、残業時間の上限規制を超えた場合には法的に罰則を受ける事になり、まさしく猶予のない取り組みが求められる状況となりました。

このような状況の中、令和4年度には次に示す運営方針を掲げ、発注者とのパートナーシップの維持向上と相互理解を図りつつ、会員企業共通の課題認識とその解消、さらに魅力ある職業としての確立等に向け、会員各位のご尽力を頂きながら様々な事業活動を展開してまいりました。

【令和4年度（2022年度）事業運営方針】

（1）建設コンサルタントの一層の魅力向上に向けた総合的な環境整備

- ① 発注機関との意見交換会の開催と「要望と提案」の提起
- ② 経営の安定化と就業環境の改善のための環境整備
- ③ 若手・女性技術者がより働きやすく、活躍できる職場環境作りの推進

（2）技術力と品質の確保・向上の促進

- ① 各技術分野における技術力と品質の確保・向上施策に関する情報提供の促進
- ② 生産性向上につながる各種の施策や先進技術等の情報提供と取組みの促進
- ③ 受発注者それぞれの役割を踏まえた今後の国土強靱化への取組みの促進

（3）広報活動の強化と社会貢献活動の推進

- ① 産学官一体となった建設コンサルタントの社会的役割と意義および業務内容等に関する広報活動の強化
- ② 災害支援活動の充実と防災技術に関わる各種情報等の提供

- ③ SDGs を踏まえた企業の社会的責任（CSR）活動への対応支援

（４）職業倫理の保持と法令遵守の徹底

- ① 職業倫理の保持について啓蒙活動の推進
- ② 法令遵守の徹底と課題発生時における助言・対応支援等
- ③ 労働法制改正、民法改正への対応支援

（５）会員であることによる便益向上の一層の促進

- ① 上記４項目による便益についての理解の促進
- ② 企業経営等に関わる各種研修会・講習会による情報提供
- ③ 企業の DX 推進に向けた各種情報の提供

令和４年度は、近年の気候変動の進展に伴い頻発する災害から国民の暮らしを守り、強靱で持続力のある安全・安心な国土の形成を図るためには、社会資本の着実な整備と維持管理の計画的・持続的推進が極めて重要であるとの運営方針を掲げ、協会活動を行ってまいりました。

具体の事業活動については、支部役員会での審議結果に基づき、総務・企画部会、对外活動部会、技術部会、夢アイデア部会、特別部会、地域部会の６部会とその下部組織である合計１７の委員会が中心となり、会員会社や事務局の支援・協力のもと、自律的かつ積極的な活動を展開してまいりました。

継続してきましたこれまでの活動に対して支持と賛同を得、九州支部の会員数は、令和４年度末には１５７社（本社会社１０５社、支社会社５２社）となりました。これは関東支部の１５８社とほぼ同数で、全国の支部の中でトップクラスの陣容となっています。

活動内容の詳細は、各部会報告に示すとおりですが、運営方針に沿った全体の総括を、以下にご報告いたします。

（１）建設コンサルタントの一層の魅力向上に向けた総合的な環境整備

① 発注機関との意見交換会の開催と「要望と提案」の提起

国土交通省九州地方整備局、内閣府沖縄総合事務局および各地方自治体と意見交換会等（国の機関とは本部・支部で、地方自治体とは支部単独で開催）を実施しました。九州地方整備局とは、実務者レベルの業務円滑化調整会議および実務者意見交換会も実施しました。意見交換会は、全て対面会議にて実施しました。一方で、NEXCO西日本九州支社との意見交換会・業務円滑化調整会議は開催できませんでした。今後の開催に向けて準備を進めてまいります。

各自治体との意見交換会では、支部会員会社へのアンケート等による発注者別のデータを充実させ、会員の声を反映した内容とし、それぞれの特徴を考慮した「各自治体個別の要望と提案」を中心に時間を十分にとった課題解決型の意見交換を実施しました。

その結果、各自治体と充実した意見交換会ができるように改善されたことに加え、受注者が認識する課題に対して発注者の理解が一層進んで来たことと評価しています。

② 経営の安定化と就業環境の改善のための環境整備

発注者との意見交換会においては、国の機関および各自治体の今後の発注見通しについて情報提供を求めるとともに、それを踏まえた経営の安定化に資する取組み、すなわち担い手の継続的な確保・育成、および就業環境整備等の議論を行いました。

労働時間の削減とワークライフバランスの推進は、建設コンサルタント業界としても受発注者双方で取り組むべき喫緊の課題です。発注者との意見交換会においても「必要な工期の確保と納期の平準化」、「ウイークリースタンスの取組み」、「Web会議の推進」、「設計条件明示チェックシートの活用」などを要望し、各発注者より前向きな回答を得ております。また「ノー残業デー」については、本部主催の全国一斉の取組みに呼応し、支部においても多くの会員会社が参加しています。

③ 若手・女性技術者がより働きやすく、活躍できる職場環境作りの推進

九州地方整備局との業務円滑化調整会議において、若手・女性技術者の活躍を促進するような業務発注のあり方を受発注者協働で継続的に検討を行い、具体的な試行業務の実施と改善を進めています。

支部においては、例年実施している「若手技術者交流会」を開催し、若手技術者による業務成果の発表と活発な意見交換を行いました。令和４年度も前年度同様にコロナ禍によりハイブリット形式（会場参加とWeb参加を併用）にて行いました。毎年参加している大学生が参加できなかったのが残念でした。しかし、若手技術者委員会が開催した学生参加型の「Job-Cafe」では、多くの大学生と専門分野ごとにフリートークを行うことができました。さらに、建設コンサルタントを市民に知ってもらうために、バス内側広告（チャンネルシティラインバスジャック）を西鉄バス１台に１か月間掲載しました。

女性技術者委員会では、「第６回女性技術者交流会」をWeb開催しました。新しい生活様式を踏まえた働き方などについて意見交換を行うなど活発な活動行っています。また、女性技術者委員会の活動を報告する「ニュースレター」も１５～１６号を発行し、広報活動の一翼を担っています。さらに、関東・近畿・中部支部にて同様の活動をしている方々との４支部意見交換会を実施しました。

（２）技術力と品質の確保・向上の促進

① 各技術分野における技術力と品質の確保・向上施策に関する情報提供の促進

会員会社の技術力向上の観点からは、河川、道路、環境・都市等の 3 技術分野、具体的には、河川、砂防、ダム、道路、橋梁、トンネル、環境、都市計画、地方創生等の多岐にわたる個別技術について、各種の技術講演会、技術セミナー、研究会、発注者との技術意見交換会等を実施しました。コロナ禍により、ハイブリットまたは Web 開催としました。なお、一昨年度まで実施している現地見学会はコロナウィルス感染防止の観点から、河川技術委員会では現地オンライン講習会を Web 配信型で開催し、道路技術委員会および環境都市等技術委員会では現地見学会を開催し、設計と工事の関わりを通して技術者としての見識向上を図りました。

品質向上の観点からは、“成果品の品質向上”を目指し、あらゆる分野について継続的な改善施策の検討を行い、効果的な情報提供と啓蒙活動を展開しました。本部主催の「マネジメントセミナー」や「品質セミナー」は Web 開催となりましたが、地域会員のためにエアー事例とその改善策を継続的に提供する「地域セミナー」を鹿児島県、大分県、宮崎県で開催しました。また、令和 2 年度から佐賀県、長崎県、熊本県、宮崎県で実施している地方の会員会社向け技術講習会を令和 4 年度は大分県を加え 5 県で開催しました。

② 生産性向上につながる各種の施策や先進技術等の情報提供と取組みの促進

地域会員に向けた「情報セミナー」を支部主催で開催し、BIM/CIM、i-Construction、情報セキュリティに関するの最新情報を提供しました。また、令和 4 年度は新たな企画として「建設コンサルタント DX 講演会」を開催し、クラウド、AI、BIM/CIM、RPA 等の最新情報を提供しました。

しかし、本部の関係委員会と連携しながら、会員会社の生産性向上に向けての情報提供やスキルアップを目的として毎年実施していた「ICT セミナー」、「情報セキュリティ講習会」は、本部単独主催となりました。なお、本部主催の「GIS 講習会」、「BIM/CIM ハンズオン講習会」を支援いたしました。

また、i-Construction の推進への取組みの一環として、九州地方整備局の「産学官連携会議」へ参画し、最新情報の収集と提供を進めています。

③ 受発注者それぞれの役割を踏まえた今後の国土強靱化への取組みの促進

河川、ダム、道路、橋梁、トンネル等の維持管理については、九州地方整備局の各担当部局との意見交換会、勉強会、研究会等を開催し、その中で受発注者協働による今後の維持管理事業のあり方等についての検討を進めています。特に橋梁については、PC 建協・橋建協との合同研究会（橋梁三力研究会）等による維持管理事業への取組みを検討しています。

(3) 広報活動の強化と社会貢献活動の推進

① 産学官一体となった建設コンサルタントの社会的役割と意義および業務内容等に関する広報活動の強化

産学官連携による各種イベント等の機会を活用しながら、一般市民や学生等を対象に建設コンサルタントの社会的役割と意義および業務内容等について、広く情報発信を進めています。具体的には、「九州建設技術フォーラム」や「夢アイデア交流会」などのイベントでの広報や、「インフラメンテナンス国民会議九州フォーラム」の事務局として支援を進めています。

さらに、ホームページによる広報を継続するとともに、長崎大学と琉球大学のインターンシップ講演会に講師を派遣するなど、リクルートのための広報戦略強化を進めています。また、メディアへの対外広報として、業界紙各社に毎月 1 回定期的に取材可能情報を連絡するとともに、新聞社取材記事のホームページへのアップロード等を適宜実施しています。

② 災害支援活動の充実と防災技術に関わる各種情報等の提供

令和 4 年度の防災訓練は九州支部が現地本部となり、「宮崎県日向灘沖を震源とする大規模地震が発生」との想定のもと、本部と連携した協会全体での演習を実施し、大規模災害発生時における会員会社への情報伝達および支援活動の即応性等の検証を行いました。

また、令和 4 年度末における災害協定締結団体は、九州地方整備局、沖縄総合事務局、熊本県、北九州市、熊本市、福岡北九州高速道路公社、西日本高速道路(株)九州支社、水資源機構筑後川局の 8 団体であり、支援要請時には速やかに対応できるように体制を整えています。

③ SDGs を踏まえた企業の社会的責任 (CSR) 活動への対応支援

現在、九州支部が取り組んでいる社会貢献活動は、夢アイデア事業と講師派遣を主要な柱としています。

夢アイデア事業については、提案された夢アイデアをいかに実現化に結び付けていくか、その具体的なアプローチを進めていくことが、最も重要な社会貢献であると認識しています。そのため、さらに広範な一般市民の参画を促すとともに、夢アイデアを現実的な事業として推進していくことのできる人材の育成に取り組んでいます。

夢アイデアの実現化に向けた取組みについては、平成 27 年に NPO として登録済みの「ヤギヒツジ ECO プロジェクト」、宮崎県西米良村における「思い出 NAVI プロジェクト」、福岡市唐人町商店街における「無礼講ストリート」、ファミリー向けイベントとして「食べられる公園ー子育て環境創出プロジェクト」等の各プロジェクトをこれまで実施していましたが、令和 4 年度は新型コロナウイルス感染拡大等の理由で「思い出 NAVI プロジェクト」のみの実施となりました。

「九州郷づくり共助ネットワーク研究会活動」は、夢アイデア実現化主要事業の一つとし活動は 14 年目を迎えます。柴北川プロジェクトや雲仙プロジェクトを着実に進めていますが、令和 4 年度はコロナ禍により活動はできませんでした。

これらの夢アイデア実現化に向けた取組みは、with コロナ/after コロナやニューノーマルに対応した生活や空間形成などを考慮した新しいスタイルも視野に継続実施していきたいと考えています。

講師派遣については、国土交通省や地方自治体および関連団体等が開催する研修会等へ、依頼に基づいた最適な人

材を派遣し、当該職員への情報提供とその技術力向上の促進に取り組んでいます。令和 4 年度は、福岡県、福岡市、鹿児島県および宮崎県の各建設技術センターへの講師派遣を実施しました。

(4) 職業倫理の保持と法令遵守の徹底

① 職業倫理の保持について啓蒙活動の推進

「一般社団法人建設コンサルタンツ協会倫理綱領」および「建設コンサルタント技術者の倫理」を常に念頭に置いて業務遂行にあたるよう、役員会等を通じて会員会社への啓蒙に取り組んでいます。

② 法令遵守の徹底と課題発生時における助言・対応支援等

会員会社における法令遵守の徹底を図るため、建設関連業五団体共催による「令和 4 年度コンプライアンスに関する会員研修会」を 6 月に対面方式にて開催しました。また、「コンプライアンス・プログラム」の策定状況について役員会等を通じて報告するとともに、同プログラムの策定事例等を会員に配布し、法令遵守の徹底を周知しています。

③ 労働法制改正、民法改正への対応支援

会員会社に対しては、12 月にハイブリット形式にて開催した働き方改革セミナーのなかで、「各種ハラスメントへの対応と定年延長・ライフプランについて」講習会を行いました。

発注者に対しては、労働法制改正に伴う残業時間の規制が、中小企業においても令和 2 年 4 月から実施され、全ての企業が対象になることを説明し、就労環境改善の受発注者協働での取組みを意見交換会の場で強く要望しました。

また、民法改正に伴い、設計ミスが発生した場合の「契約不適合責任」を負う有効期間が長くなったことを、役員会等を通じて周知しました。

(5) 会員であることによる便益向上の一層の促進

① 上記 4 項目による便益についての理解の促進

毎月開催の三役会議および役員会で種々の支部活動についての審議と方針決定を行い、これに基づき各部会および傘下の委員会活動を実施しています。その中で、常に上記 4 項目についての便益を、会員会社があまねく享受できるように留意するとともに、活動時期の平準化や委員会相互の情報交流の促進について検討を行い、「会員であることによる便益と満足度の向上」に努めています。特に、地域の会員会社の意見等については、本部地域コンサルタント委員会および地域部会を通じて、より一層きめ細かく支部活動へ反映させる取組みを進めています。

② 企業経営等に関わる各種研修会・講習会による情報提供

本部主催の「経営分析説明会」を Web で開催し、企業経営に関わる重要な現状分析と知見の提供を行いました。また、令和 2 年度に続き支部主催で「働き方改革セミナー」を開催しました。管理部門の職員のみならず、業務実施現場の技術管理者に必須の極めて実利的な講習内容でした。

さらに本部主管の RCCM 資格試験の支援も毎年継続的に実施しています。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため RCCM 資格試験を実施できませんでしたが、令和 3 年度からは、CBT 試験方式にて実施することができました。

③ 企業の DX 推進に向けた各種情報の提供

令和 4 年度はコロナ禍により、本部支部を問わず、講習会やセミナーをオンラインもしくはハイブリットで開催せざるを得ない状況となりました。九州支部は、平成 28 年度より導入していた「サテライト受講システム」によりオンライン講習の要領を取得していたため、他団体に比べていち早く対応し、会員の皆さまの便益の向上に寄与できたものと思っています。今後とも支部として IT 機器への投資を行い、オンラインでの講習会やセミナーの受講環境の向上に努め、最新の情報を提供していきたいと考えています。

以上

【総務・企画部会】

1. 令和5年 定時総会（総務委員会）

令和5年4月18日、令和5年定時総会を開催し、下記のとおり報告ならびに決議した。

議案		
(審議)	第一号議案	令和4年度事業報告(案)について
	第二号議案	令和4年度決算(案)及 監査報告について
	第三号議案	役員改選(案)について
(報告)	第一号議案	令和5年度事業計画について
	第二号議案	令和5年度予算について

場 所：オリエンタルホテル福岡博多ステーション3階「YAMAKASA」

2. 令和5年度 第1回委員長交流会（企画委員会）

- イベント名 令和5年度 第1回 委員長交流会
 開催日 令和5年6月13日(火) 14:00~17:00
 場 所 第五博多偕成ビル
 参加者 26名
 内 容
1. 令和4年度第2回委員長交流会議事録について
 2. 令和5年度事業運営方針について
 3. 令和5年度予算計画について
 4. 令和5年度事業計画について（各委員長 事業計画の確認）
 5. その他事項（広報活動の共有、Box 導入）



▲第1回委員長交流会の様子

3. 建設関連業五団体主催「コンプライアンスに関する会員研修会」（総務委員会）

現在の社会情勢を踏まえて、改めてコンプライアンス遵守の重要性について、その役割を認識し法への理解を深めるための研修会を建設関連業五団体共催で開催した。

- イベント名 建設関連業五団体主催「コンプライアンスに関する会員研修会」
 開催日 令和5年6月21日(水) 14:00~17:00
 場 所 (財)福岡県中小企業振興センター「大ホール」(福岡市博多区吉塚本町9-15)
 参加者 209名 (うち建コン会員 84名/ 60社)
 主催団体 (一社)建設コンサルタンツ協会九州支部

(一社) 福岡県測量設計コンサルタンツ協会
(一社) 福岡県地質調査業協会
(一社) 日本補償コンサルタント協会九州支部
(公社) 全国上下水道コンサルタント協会九州支部

内 容 ■ 「職場のメンタルヘルス対策～ストレス対処方法を身につける～」

講師：特定社会保険労務士・行政書士 伴 芳夫 先生

社会保険労務士・精神保健福祉士 一木 信輔 先生



▲コンプライアンスに関する会員研修会の様子

【特別部会】

1. 九州地方整備局テックフォースに技術者を派遣

災害協定に基づき九州地方整備局 TEC-FORCE 現地調査に技術者を派遣した。

協 定 先 国土交通省 九州地方整備局

実 施 日 令和5年7月6日(木)

場 所 一般国道445号 金内橋(熊本県上益城郡山都町金内)

派 遣 人 数 3社7名

内 容 国土交通省記者発表資料

http://www.qsr.mlit.go.jp/press_release/r5/230704bousai.html

報 道 NHK 熊本放送 News 7/6 18時台ほか

夢のよう
な話を、
本気で
しよう。

夢アイデア作品募集！

テーマは何でもOK！
まちづくり、地域振興、観光、
景観、環境、農業、子育てなど、
テーマや対象地域は自由！

応募締切

2023年 9月 30日

賞金

一般の部（賞金） ジュニアの部（図書券）

最優秀賞 10万円 最優秀賞 1万円

優秀賞 3万円

優秀賞 5千円

優良賞 1万円

優良賞 3千円 ※ジュニアの部は中学生以下

応募先・お問い合わせ

住所：福岡市博多区博多駅東1-13-9 いちご博多駅東ビル8階
（一社）建設コンサルタンツ協会九州支部「夢アイデア企画」係
MAIL：qsinfo@jcca.or.jp / FAX：092-434-4342
HP：http://jcca-kyushu.jp/dream/

夢アイデア

検索



Web

【主催】：（一社）建設コンサルタンツ協会九州支部 【後援】：国土交通省九州地方整備局、（公社）日本技術士会九州本部
【協賛】：（一社）九州地域づくり協会、（一社）建設コンサルタンツ協会

どんなまちに住んでみたいですか？ どんなまちを訪ねてみたいですか？ みなさんのまちづくりへの 夢や希望、アイデア大募集!

夢アイデアは、自分たちの思い描く「まち・地域像」の夢やアイデアを具現化することにより、より良いまちづくりを目指すものです。まちを楽しくする、まちを元気にする、ひとが驚き、感動するあなたの夢アイデアを募集しています。これまで、995編あまりの応募をいただき、実現に向かって動いている取り組みも少なくありません。たくさんのご応募、お待ちしております!

夢アイデアの応募方法!

応募の書式・枚数は自由!

手書きのイラストや原稿、またはワープロ原稿など書式や枚数は自由です。提案の特徴やアピールしたい点をまとめたうえ、イラストや原稿末尾に「住所」、「職業」、「所属（会社名、学生は学校名及び学年）」、「氏名（ふりがな）」、「年齢」、「電話番号」、「メールアドレス」「この企画を知ったきっかけ」を記載し、メール・郵送・FAXにて印刷物、データ（CD-Rなどの電子媒体）をお送りください。

(応募締切：2023年9月30日)

※郵送の場合は「提案書在中」を朱書きください。

※イラストや応募原稿は原則として返却しません。また、作品の公開等、建設コンサルタンツ協会九州支部が必要とする場合は自由に使用します。予めご了承ください。

※枚数は自由ですが、400字詰め原稿用紙10枚程度までとしてください。

※応募作品は未発表作品に限ります。

※作品中のイラストや写真などは、著作権法を遵守ください。

※夢アイデアに関するホットラインを設けております。Hotline@jcca.or.jpにてお気軽にご相談ください。

応募のサポートも! 夢アイデアホットライン

パソコンをもっていない方、文章が苦手な方・厳しい方に対し、携帯メールや夢アイデアホットラインによるサポートサービスを行います。お気軽にお申し込み・ご相談ください。

応募・お問い合わせ先

住所：〒812-0013

福岡市博多区博多駅東 1-13-9 いちご博多駅東ビル 8階

(一社)建設コンサルタンツ協会 九州支部「夢アイデア企画」係

TEL：092-434-4340 / FAX：092-434-4342

MAIL：qsinfo@jcca.or.jp

SNS

これまでの応募内容や夢アイデアの取り組みに関する情報は右記よりアクセス!



Web

Facebook
Instagram
Twitter @yumeidea

夢アイデアから実現したプロジェクトも!

過去 20 回の夢アイデアの募集の中には、実現に向かって動いているプロジェクトもあります。過去の応募作品は「夢アイデア」のホームページに掲載し、Facebook, Instagram, Twitter でも情報発信しています。夢アイデア応募の参考に、まちづくりのアイデアに、ぜひご覧ください。



【ヤギ・羊 ECO プロジェクト】



【夕陽風景時計】



【思い出 NAVI】



【子育て環境を考える会】



【九州郷づくり共助ネットワーク研究会】

応募された作品は「夢アイデア交流会 2023」で発表・表彰!!

2023年12月2日(土)に開催する夢アイデア交流会では、一次審査でノミネートされた夢アイデア応募作品の発表、審査、表彰を行います。今年も、来場とLIVE配信による開催を予定しております。接続方法などの詳細は、後日ホームページ等でお知らせします。どうぞお楽しみに!

(※発表は会場、配信のどちらかをお選びいただけます。)

■開催日時 2023年12月2日(土)

■会費 無料

■会場 TKP ガーデンシティ博多新幹線口

福岡市博多区博多駅中央街 5-14 福さ屋本社ビル

■参加申し込み・お問い合わせ

(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部「夢アイデア交流会」事務局

TEL：092-434-4340 / FAX：092-434-4342 / MAIL：qsinfo@jcca.or.jp

HP：http://jcca-kyushu.jp/dream/



【夢アイデア交流会 会場: TKPガーデンシティ博多新幹線口 地図】

	企業名	所在地	電話
1	アーバンテクノ(株)	812-0011 福岡市博多区博多駅前 3-8-10	092-409-3866
2	(株)アサノ大成基礎エンジニアリング 九州支社	812-0872 福岡市博多区春町 1-6-6	092-571-5681
3	朝日開発コンサルタンツ(株)	892-0847 鹿児島市西千石町 5-1	099-226-6800
4	朝日航洋(株) 福岡支店	812-0013 福岡市博多区博多駅前 3-12-1	092-437-5905
5	朝日テクノ(株)	840-0203 佐賀市大和町大字梅野 280	0952-37-9300
6	アジアエンジニアリング(株)	815-0031 福岡市南区清水 1-14-8	092-553-2800
7	(株)アジア技術コンサルタンツ	890-0069 鹿児島市南郡元町 25-1	099-251-2160
8	(株)アジア建設コンサルタント	815-0082 福岡市南区大楠 2-8-13	092-521-5931
9	アジア航測(株) 福岡支店	812-0011 福岡市博多区博多駅前 4-9-2	092-441-1480
10	アズテックコンサルタンツ(株)	830-0046 久留米市原古賀町 30-1	0942-36-3560
11	(株)ARIAKE	861-4108 熊本市南区幸田 2-7-1	096-381-4000
12	E-tecsコンサルタント(株)	857-0136 佐世保市田原町 9-15	0956-41-4333
13	いであ(株) 九州支店	812-0055 福岡市東区東浜 1-5-12	092-641-7878
14	(株)ウエスコ 九州支社	812-0016 福岡市博多区博多駅南 2-1-9	092-483-3291
15	エイコーコンサルタンツ(株)	815-0083 福岡市南区高宮 5-10-12	092-534-8150
16	(株)エイト日本技術開発 九州支社	812-0018 福岡市博多区住吉 3-1-80	092-686-9941
17	(株)エース 九州支社	812-0013 福岡市博多区博多駅前 2-9-25	092-292-0821
18	(株)エスケイエンジニアリング	818-0072 筑紫野市二日市中央 1-1-50	092-925-4880
19	(株)エム・ケー・コンサルタント	812-0882 福岡市博多区麦野 6-14-19	092-573-2777
20	(株)オオバ 九州支店	810-0074 福岡市中央区大手門 1-1-12	092-714-7521
21	扇精光コンサルタンツ(株)	851-0134 長崎市田中町 585-4	095-839-2114
22	応用地質(株) 九州事務所	812-0018 福岡市博多区住吉 3-1-80-3F	092-402-0840
23	(株)オービット	812-0877 福岡市博多区元町 1-7-12	092-589-3418
24	(株)オリエンタルコンサルタンツ 九州支社	812-0011 福岡市博多区博多駅前 3-2-8	092-411-6209
25	(株)片平新日本技研 福岡支店	812-0013 福岡市博多区博多駅前 3-1-1	092-433-8805
26	川崎地質(株) 九州支社	812-0016 福岡市博多区博多駅南 1-8-34	092-292-4386
27	(株)技術開発コンサルタント	812-0036 福岡市博多区上呉服町 12-8	092-271-2518
28	基礎地盤コンサルタンツ(株) 九州支社	814-0022 福岡市早良区原 2-16-7	092-831-2511
29	九建設計(株)	876-0045 佐伯市大字上岡 2270	0972-22-4126
30	(株)九州開発エンジニアリング	862-0912 熊本市東区錦ヶ丘 33-17	096-367-2133
31	九州技術開発(株)	849-0937 佐賀市鍋島 5-7-23	0952-32-1112
32	九州建設コンサルタント(株)	870-0946 大分市大字曲 936-1	097-569-9595
33	九州工営(株)	880-0015 宮崎市大工 2-117	0985-28-1122
34	(株)九州土木設計コンサルタント	880-0123 宮崎市大字芳士 3701-59	0985-39-3330
35	九和設計(株)	806-0068 北九州市八幡西区别所町 2-38	093-641-3773
36	協同エンジニアリング(株)	870-0876 大分市大字三芳 1238-1	097-545-2111

	企業名	所在地	電話
37	(株)共同技術コンサルタント	880-0036 宮崎市花ヶ島町大原 2361-1	0985-29-0240
38	(株)橋梁コンサルタント 西日本支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 1-18-33	092-461-2011
39	(株)キョウワ	879-0627 豊後高田市新地 1952-3	0978-24-3062
40	(株)協和コンサルタンツ 九州支社	810-0001 福岡市中央区天神 3-11-20	092-733-1241
41	(株)熊本建設コンサルタント	862-0917 熊本市東区榎町 16-52	096-367-4111
42	(株)ケイディエム	883-0005 日向市中堀町 3-119	0982-52-0696
43	(株)ケー・シー・エス 九州支社	812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-4-4	092-472-4521
44	(株)建設環境研究所 九州支社	812-0023 福岡市博多区奈良屋町 2-1	092-271-6600
45	(株)建設技術研究所 九州支社	810-0041 福岡市中央区大名 2-4-12	092-714-2211
46	(株)建設技術コンサルタンツ	890-0007 鹿児島市伊敷台 1-22-1	099-229-2800
47	(株)建設技術センター	812-0023 福岡市博多区奈良屋町 1-1	092-283-6610
48	(株)建設コンサルタントサニー	870-0952 大分市下郡北 3-24-3	097-567-8600
49	(株)晃和コンサルタント	880-0925 宮崎市大字本郷北方 3009-1	0985-51-5818
50	(株)興和測量設計	861-5501 熊本市北区改寄町 2141-1	096-272-7711
51	国際技術コンサルタント(株)	849-0203 佐賀市久保田町大字新田 3797-3	0952-51-3711
52	国際航業(株) 九州支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-6-3	092-451-5001
53	(株)国土開発コンサルタント	880-0015 宮崎市大工 3-155	0985-24-6487
54	(株)国土技術コンサルタンツ	890-0008 鹿児島市伊敷 2-14-10	099-229-0030
55	(株)吾水総合コンサルタント	806-0065 北九州市八幡西区養福寺町 7-9	093-621-3366
56	(株)コスモエンジニアリング	843-0001 武雄市朝日町大字甘久 3796	0954-23-0200
57	(株)五省コンサルタント	812-0027 福岡市博多区下川端町 9-12(福岡武田ビル)	092-281-4210
58	(株)コンサルハマダ	861-8034 熊本市東区八反田 1-1-15	096-385-1171
59	(株)サザンテック	876-0111 佐伯市弥生大字井崎 495-2	0972-28-5686
60	(株)佐藤設計コンサルタント	879-7111 豊後大野市三重町赤嶺 902	0974-22-6432
61	産業開発コンサルタント(株)	812-0044 福岡市東区筥松 3-13-9	092-621-7118
62	(株)サン建コンサルタント	879-5502 由布市挾間町向原 1298-1	097-583-4218
63	サンコーコンサルタント(株) 九州支社	810-0802 福岡市博多区中洲中島町 2-3-6F	092-271-2903
64	(株)サンコンサル	812-0888 福岡市博多区板付 2-5-4	092-582-1290
65	(株)三洋コンサルタント	800-0031 北九州市門司区高田 1-3-1	093-342-8240
66	ジーアント`エスエンジニアリング(株)	812-0007 福岡市博多区東比恵 3-24-9	092-481-3100
67	JR九州コンサルタンツ(株)	812-0013 福岡市博多区博多駅東 1-1-14	092-413-1021
68	シビックアーツコンサルタント(株)	815-0032 福岡市南区塩原 4-5-29	092-555-4151
69	(株)島田設計コンサルタント	882-0803 延岡市大貫町 6-150	0982-33-5141
70	(株)新日本技術コンサルタント	890-0034 鹿児島市田上 8-24-21	099-281-9143
71	(株)親和コンサルタント	849-0933 佐賀市卸本町 7-25	0952-32-1348
72	(株)スリーエヌ技術コンサルタント	812-0008 福岡市博多区東光 2-1-13-8F	092-482-7800
73	(株)セイコー	830-0052 久留米市上津町 1874	0942-22-5850
74	精巧エンジニアリング(株)	879-5103 由布市湯布院町川南 11-3	0977-85-3344

	企業名	所在地	電話
75	精工C&C(株)	847-1211 唐津市北波多岸山 611-16	0955-64-2237
76	(株)西部技建コンサルタント	886-0004 小林市細野 4158	0984-24-0511
77	(株)西部技術コンサルタント	812-0016 福岡市博多区博多駅前 4-18-12	092-437-5711
78	セントラルコンサルタント(株) 九州支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-14-1	092-432-5385
79	(株)総合技術コンサルタント 九州支店	812-0039 福岡市博多区冷泉町 4-17	092-409-7270
80	(株)第一技術コンサルタント	815-0036 福岡市南区筑紫丘 2-6-11	092-554-1773
81	第一復建(株)	812-0006 福岡市博多区上牟田 1-17-9	092-412-2230
82	ダイエーコンサルタント(株)	879-0311 宇佐市大字森山 1813-5	0978-32-0584
83	(株)大進	890-0016 鹿児島市新照院町 21-7	099-239-2800
84	(株)大進コンサルタント	861-2102 熊本市東区沼山津 4-2-22	096-365-0112
85	大成ジオテック(株)	830-0038 久留米市西町 1174-10	0942-34-5622
86	(株)タイセイプラン	862-0924 熊本市中央区帯山 1-44-39	096-381-5665
87	大日本ダイヤコンサルタント(株) 九州支社	812-0044 福岡市博多区千代 5-3-19	092-645-1280
88	大福コンサルタント(株)	890-0068 鹿児島市東郡元町 17-15	099-251-7075
89	(株)太平設計	802-0023 北九州市小倉北区下富野 1-6-21	093-551-1413
90	太陽技術コンサルタント(株)	882-0062 延岡市松山町 1170-1	0982-33-2107
91	大洋測量設計(株)	879-0444 宇佐市大字石田 44	0978-32-4234
92	(株)高崎総合コンサルタント	839-0809 久留米市東合川 3-7-5	0942-44-8333
93	(株)地圏総合コンサルタント 九州支店	810-0041 福岡市中央区大名 2-4-12(CTI 福岡ビル)	092-731-1121
94	中央開発(株) 九州支社	814-0103 福岡市城南区鳥飼 6-3-27	092-831-3111
95	(株)中央技術コンサルタンツ 西日本支社	862-0950 熊本市中央区水前寺 6-27-25	096-383-5353
96	中央コンサルタンツ(株) 福岡支店	812-0039 福岡市博多区冷泉町 2-1	092-271-2541
97	中央復建コンサルタンツ(株) 九州支社	812-0038 福岡市博多区祇園町 4-61	092-282-0441
98	(株)長大 福岡支社	810-0004 福岡市中央区渡辺通 1-1-1-6F	092-737-8360
99	(株)千代田コンサルタント 九州支店	812-0018 福岡市博多区住吉 2-2-1-3F	092-262-0770
100	(株)テクノ	839-0809 久留米市東合川 3-1-21	0942-44-8700
101	(株)テクノコンサルタント	870-0108 大分市三佐 1-5-14	097-527-5111
102	東亜建設技術(株)	819-0046 福岡市西区西の丘 1-7-1	092-892-7710
103	(株)東亜コンサルタント	812-0007 福岡市博多区東比恵 3-28-10	092-415-1313
104	東亜コンサルタント(株)	870-0150 大分市東原 1-20-17	097-558-4884
105	(株)東京建設コンサルタント 九州支社	812-0016 福岡市博多区博多駅南 2-12-3	092-432-8000
106	(株)東光コンサルタンツ 九州支店	812-0007 福岡市博多区東比恵 3-12-16-5F	092-472-3323
107	(株)トーチコンサルタント 九州支店	812-0011 福岡市博多区博多駅前 2-6-10	092-686-7300
108	東洋技術(株)	870-0856 大分市畑中 2-7-42	097-554-5330
109	東洋測量設計(株)	879-2421 津久見市大字津久見 515	0972-82-5646
110	(株)トキワ・シビル	812-0882 福岡市博多区麦野 1-22-3	092-571-3737
111	内外エンジニアリング(株) 福岡支社	812-0016 福岡市博多区博多駅南 3-20-3	092-431-2851
112	(株)西田技術開発コンサルタント	889-1602 宮崎市清武町今泉丙 722	0985-77-8855

	企業名	所在地	電話
113	西鉄シー・イー・コンサルタント(株)	815-0033 福岡市南区大橋 2-8-1	092-235-9140
114	西日本技術開発(株)	810-0004 福岡市中央区渡辺通 1-1-1	092-781-2831
115	西日本建技(株)	812-0013 福岡市博多区博多駅東 1-13-6	092-441-7676
116	西日本コンサルタント(株)	870-0852 大分市田中町 1-1-8	097-543-1818
117	西日本総合コンサルタント(株)	849-0902 佐賀市久保泉町大字上和泉 3114-3	0952-98-2141
118	(株)西日本測量設計	830-0051 久留米市南 1-14-11	0942-32-2323
119	(株)日建技術コンサルタント 九州支社	812-0024 福岡市博多区綱場町 8-23	092-263-5250
120	(株)日建コンサルタント	870-0018 大分市豊海 3-7-7	097-534-0313
121	日進コンサルタント(株)	871-0025 中津市万田 602-2	0979-24-5436
122	(株)日水コン 九州支所	812-0038 福岡市博多区祇園町 7-20	092-282-1354
123	(株)日設コンサルタント	812-0035 福岡市博多区中呉服町 1-22-2F	092-262-2377
124	日鉄鉱山コンサルタント(株) 九州本社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-6-23	092-451-6467
125	(株)日本インシーク 九州支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 1-18-25	092-433-2771
126	日本工営(株) 福岡支店	812-0007 福岡市博多区東比恵 1-2-12	092-475-7131
127	日本工営都市空間(株) 九州支店	812-0007 福岡市博多区東比恵 1-2-12	092-451-6141
128	日本交通技術(株) 九州支店	812-0012 福岡市博多区博多駅中央街 8-20	092-433-3070
129	(株)日本港湾コンサルタント 九州支店	812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-14-1-10F	092-482-0345
130	日本振興(株) 九州支店	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-5-21-2F	092-481-0264
131	日本地研(株)	812-0894 福岡市博多区諸岡 5-25-25	092-571-2764
132	(株)ニュージェック 九州支店	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-14-1-3F	092-402-0251
133	(株)萩原技研	892-0816 鹿児島市山下町 16-20	099-222-8700
134	パシフィックコンサルタンツ(株) 九州支社	812-0012 福岡市博多区博多駅中央街 7-21	092-418-8020
135	(株)パスコ 九州事業部	812-0007 福岡市博多区東比恵 3-5-2	092-451-3522
136	(株)東九州コンサルタント	882-0861 延岡市別府町 4209-2	0982-33-1120
137	(株)久永コンサルタント	890-0007 鹿児島市伊敷台 1-22-2	099-228-6600
138	日向測量設計(株)	883-0013 日向市新生町 1-72	0982-52-5445
139	フェニックスコンサルタント(株)	880-0121 宮崎市大字島之内字境田 6652	0985-39-2914
140	(株)福山コンサルタント	812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-6-18	092-471-0211
141	(株)富士設計	870-0942 大分市大字羽田 930-1	097-574-5318
142	(株)フタバ設計	812-0887 福岡市博多区三筑 1-6-14	092-591-6903
143	(株)復建エンジニアリング 福岡支社	810-0041 福岡市中央区大名 2-12-15-2F	092-716-6262
144	復建調査設計(株) 九州支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-12-24	050-9002-4660
145	(株)ホープ設計	903-0813 那覇市首里赤田町 3-5	098-911-9073
146	(株)間瀬コンサルタント 福岡支店	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-6-28	092-471-6610
147	(株)松尾設計	805-0061 北九州市八幡東区西本町 2-5-5	093-661-4970
148	松本技術コンサルタント(株)	871-0161 中津市大字上池永 1285-10	0979-23-3636
149	(株)水野建設コンサルタント	862-0933 熊本市東区小峯 2-6-26	096-365-6565
150	(株)溝田設計事務所	830-0032 久留米市東町 480-16	0942-38-6548

	企業名	所在地	電話
151	三井共同建設コンサルタント(株) 九州支社	812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-14-1	092-441-3872
152	(株)宮崎産業開発	880-0022 宮崎市大橋 3-225	0985-27-7103
153	八洲開発(株)	862-0920 熊本市東区月出 1-1-52	096-384-3225
154	八千代エンジニアリング(株) 九州支店	810-0073 福岡市中央区舞鶴 3-9-39-9F	092-778-2001
155	(株)ワコー	861-4172 熊本市南区御幸笛田町 3-19-1	096-370-3333

(令和 5 年 7 月 1 日現在 155 社)

